

■ JSNC 2016

第26回日本心臓核医学会総会・学術大会 (JSNC 2016) の紹介

**佐久間 肇**

第26回日本心臓核医学会総会・学術大会会長
三重大学院医学系研究会 放射線医学講座

このたび、第26回日本心臓核医学会総会・学術大会を2016年7月15日(金)、16日(土)の両日、三重県津市のアスト津にて開催させていただくこととなりました。本学術集会のテーマは、「マルチモダリティ時代の心臓核医学—明日へのチャレンジ」といたしました。日進月歩の心疾患の診療において、核医学を含めた最新の画像診断を知ることは、この領域に携わる医師や研究者にとってきわめて重要です。本大会は、心臓核医学における最新の研究成果を共有するとともに、CTやMRIなど他モダリティの最新技術を紹介するセッションを設け、マルチモダリティ時代に対応した大会にしたいと考えています。また本学会の国際化の一環として、米国心臓核医学会(ASNC)とのジョイントセッションを新たに企画し、より一層充実した学術大会となるよう取り組んでいます。若手研究者奨励賞、学会賞(医師部門、技術部門)の審査・表彰も

例年どおり行いますので、こちらも奮ってご応募のほど、よろしくお願い致します。

本大会が開催される三重県は、風光明媚なりアス式海岸など豊かな自然とともに、伊勢神宮や熊野古道など歴史文化にも恵まれた地域です。伊勢海老や鮑、牡蠣など豊富な魚介類や松阪牛の産地としても有名です。さらに本年は伊勢志摩サミットの開催が予定されており、三重県は今、国内外から注目を集めています。この地で、心臓核医学会が開催されますのは、8年ぶりで、その当時とは、心臓核医学を取り巻く環境は大きく変わっております。明日へのよりよい診療を目指し、日々、チャレンジするわれわれにとって、本大会が実り多い大会になるよう鋭意努める所存です。なお会場のアスト津は、津駅に隣接しており、他県からもアクセスの便利な場所です。多くの演題応募とご参加を心よりお待ちしております。